

## 教育委員会定例会（平成27年8月）会議録

|            |   |
|------------|---|
| 1 日 時      | 平成27年8月12日（水）14:00～16:45  |
| 2 場 所      | 別子銅山記念図書館 多目的ホール  |
| 3 出 席 者    | 委員長 三木 由紀子<br>委 員 伊藤 嘉秀 宮内 文久 長野 美和子<br>教育長 阿部 義澄<br>事務局長 木村 和則<br>総括次長 眞鍋 育朗<br>次 長 高橋 良光 横井 邦明 赤尾 恭平<br>課 長 高橋 正弥 渡辺 環 曾我部 みさ 桑原 一郎<br>指導主幹 井上 美樹                 |
| 4 教育長の一般報告 | 教育長の報告<br>7月分行事報告及び8月分行事予定について<br>その他   |
| 5 記録者氏名    | 社会教育課 岡部 文仁   |
| 6 会議の概要    | <議案><br>議案第38号 平成28年度使用中学校教科用図書の採択について<br>議案第39号 新居浜市美術品購入基金条例施行規則の制定について<br><br><いじめ、不登校等生徒指導関係について><br><br><その他><br>(1) 平成27年度教育委員会取組方針について<br>(2) 学校図書館支援センターだより |

|              |   |
|--------------|---|
| <p>三木委員長</p> | <p>それでは定刻がまいりましたので、ただ今から平成27年第8回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、宮内委員さん、伊藤委員さんをお願いいたします。会期は本日限りといたします。</p> <p>平成27年第7回定例会会議録承認は、私三木と宮内委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>議案審議に先立ちまして、傍聴の皆様には「新居浜市教育委員会傍聴人規則」についてご説明いたします。入場の際にお配りしました「新居浜市教育委員会傍聴人規則」をご覧ください。ここで、再確認させていただきます。それでは、読み上げさせていただきます。</p> <p>&lt;「新居浜市教育委員会傍聴人規則」を読み上げる&gt;</p> <p>以上が、「新居浜市教育委員会傍聴人規則」でございます。第4条で規定しております行為をされた場合は退場いただくこととなりますので、静かに傍聴をお願いいたします。</p> <p>ただ今から議案審議に入ります。報道関係の方々には、以後は写真撮影等のご遠慮いただき、着席して傍聴をお願いいたします。</p> <p>それでは、議案第38号「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いいたします。</p> |
| <p>高橋次長</p>  | <p>議案第38号「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」ご説明を申し上げます。平成28年度から新居浜市の中学校で使用する教科用図書について採択をいただくということでございます。採択の権限は、公立学校については所管の教育委員会にございます。教科書の決定を採択といたします。</p> <p>教科書採択については、平成20年3月に新学習指導要領が告示され、平成23年度に現在中学校で使用されている教科書が採択されました。本日の教育委員会の教科書採択は、採択した年より4年目に当たる、法で示された採択の年にあたり、新学習指導要領に基づく2回目となっております。9教科15種目について採択をいただきます。</p> <p>教育委員会の採択に当たりまして、参考資料を取りまとめるため、「教科用図書採択委員会」を設置し、6月12日(金)、7月24日(金)の2回にわたり、協議検討をいただきました。「教科用図書採択委員会」において、協議検討をいただくための資料として、まず1つは、学校現場の教員の意見を各学校単位にとりまとめ提出しております。これ</p>  |

|        |  |
|--------|--|
|        | <p>は、各学校全ての教員が、6月19日から当、別子銅山記念図書館において開催されました「教科書展示会」において、教科用図書を閲覧し、個々に「私の評価表」として評価したものを、各学校長に提出し、これを各校長が「学校の評価」としてとりまとめ、教科・種目ごとに1位、2位の出版社を選定し、提出をいただいたものです。</p> <p>次に、「教科用図書採択委員会」における協議検討の2つ目の資料として、教科ごとに、市内中学校教員の中から3名の調査員を選定し、専門的調査を行い、A(極めて適切)、B(適切)、C(おおむね適切)、D(工夫を要する)の4段階でご意見をいただいております。</p> <p>3つ目の資料としては、市民の意見をお伺いするという事で、別子銅山記念図書館において開催いたしました「教科書展示会」で、意見箱を設置し、広く市民の皆様からのご意見をいただくというものです。本年度は、教科書の内容や採択に関する市民からのご意見は12件ございました。</p> <p>これらの資料を基に、「教科用図書採択委員会」がとりまとめ所見を付け、採択委員会として選定した出版社を◎で、次点となったものを○で示し、教育委員さんのお手元に配布させていただいております。教科用図書採択委員会できりまとめをいただきました資料を参考にし、いただき、採択をいただきたいと存じます。</p> <p>採択をいただく単位ですが、お手元議案資料に添付いたしております「平成28年度使用中学校教科用図書の調査結果の総括」の9教科15種目についてご審議をお願いします。</p> |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。議案について事務局から説明がありましたが、質問等はありませんか。</p>  |
| 伊藤委員   | <p>市民の方からのご意見をいただいているとの事ですが、その内容について紹介していただけないでしょうか。</p>   |
| 井上指導主幹 | <p>市民の方からのご意見として、教科書展示会でいただきましたご意見が12件、郵送またはFAXなどによるものが7件、合計19件のご意見をいただきました。その内容については、みなさまのお手元の「市民からの意見」の冊子に載せておりますので、そちらの方をご覧ください。</p>  |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。先ほど話にもありましたように、市民か</p>  |

|        |   |
|--------|---|
|        | <p>らのご意見をたくさんいただきました。大変感謝しております。新居浜の子どもたちのことを本当に大事に思ってくださいていることがわかり、本当にうれしく思いました。みなさんのご意見を真摯に受け止め、教科書の内容を十分に読ませていただいたうえで、私たち教育委員としてそれぞれの考えのもとに、採択させていただければと思っております。よろしく願います。その他、ご質問はありませんか。</p> |
| 長野委員   | <p>教科用図書採択委員会の委員さんは、今回はどのような方がなられているのですか。</p>   |
| 井上指導主幹 | <p>教科用図書採択委員さんについては、新居浜市教科用図書採択委員会設置要綱に基づき、小中学校の校長及び教員の代表、小中学校の保護者の代表、学識経験者に教育委員会事務局から任命・委嘱させていただいております。内訳としましては、小中学校の校長及び教員から3名、小中学校保護者から3名、学識経験者1名、教育委員会事務局の職員から3名となっております。</p>               |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。その他、ご質問はありませんか。</p>  |
| 宮内委員   | <p>調査員さんがあらかじめ調査した資料を教科用図書採択委員会に上げるということですがけれども、その調査員の人選は、どのように行われたのですか。</p>  |
| 井上指導主幹 | <p>調査員については、設置要綱に基づくとともに、選出にあたっては校長及び教員の中から、市教科会での役員経験及び実績、教務主任や研修主任など校務分掌の経験者、教科における実績等を考慮し総合的に判断を行い、教育委員会が委嘱しております。</p>   |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。その他、ご質問はございませんか。<br/> それでは、9教科15種目についての教科用図書について、順に審議を行い、採択を行います。<br/> まず、国語について、事務局から説明をお願いします。</p>   |
| 井上指導主幹 | <p>国語についてご説明いたします。お手元資料「調査結果の総括」の1ページをご覧ください。5つの出版社を対象にしています。調査員は、光村図書と三省堂がA、そのほかはBとしております。学校の評</p>   |

|        |  |
|--------|--|
| 伊藤委員   | <p>私は地理については、その地域や国々の特性がよく理解でき、それぞれに興味を湧いてくる教科書がいいと思っています。そういう意味で、調査員の方々、採択委員の方々と意見が一緒なのですが、帝国書院を推薦させていただきます。帝国書院の教科書は、その他の出版社のものと比較すると、それぞれの国々や日本の各地、地域の特性がよく表現されていまして、教科書を読んでいくうちに国や地域に非常に興味を持てるようなつくりになっています。そういう意味で非常によくできた教科書だと考えます。そして、写真も迫力があり見入ってしまうものが多く、そういったことから、帝国書院を推薦します。</p>            |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>   |
| 阿部教育長  | <p>地理の教科書は、地図と一体になって作られているということも考えていく必要があると思っています。帝国書院の教科書は、愛媛県や新居浜市に関する資料が掲載されているなど、内容が生徒の生活や経験などに対して配慮されているように思いました。また、新居浜市は現在ESDの推進に取り組んでおりますので、特に帝国書院の教科書は、地域の課題を調査して発表する単元がいろいろなところに設けられており、ESDへの理解やこれからの教育方法の一つとして言われているアクティブラーニングへの手法に近いものがあるので、生徒の自立的な活動へ導きやすい教科書ではないかと思い、帝国書院を推薦したいと思います。</p> |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。<br/> それでは、採決を行います。社会・地理的分野の教科書について、帝国書院が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。<br/> <br/> (全員挙手)</p>  |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。それでは、社会・地理的分野について帝国書院を採択といたします。<br/> 次に、社会・歴史的分野について、事務局から説明をお願いします。</p>  |
| 井上指導主幹 | <p>資料4ページをご覧ください。社会・歴史的分野について、ご説明いたします。8つの出版社を対象にしております。調査員は、育鵬社をA、東京書籍、帝国書院をB、日本文教出版、教育出版、清水書院</p>  |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>をC、その他をDとしております。また、学校の評価については、育鵬社を1位に推している学校が2校、2位としているところが2校。東京書籍を1位に推しているところは10校、2位としているところは1校となっています。また、帝国書院を1位に推しているところは0校、2位としているところは3校となっています。採択委員会ではそれらを総括し、育鵬社を選定、東京書籍を次点としております。ご審議をお願いします。</p>  |
| 三木委員長 | <p>それでは、社会・歴史的分野の採択にあたって、各委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>  |
| 阿部教育長 | <p>8社の教科書が提案されています。そして、国や県教委から市教委へ出されている採択する場合参考にする選定資料で、すべての教科書が適切と伝えられています。また、すべての教科書が学習指導要領に基づいて作成されているので、地域の教育の格差については心配がないと思っています。そのようなことから教科書の採択にあたっては、自分が生まれた郷土と国家の文化と歴史に共感できる健全な授業を行える教科書を選んでいきたいと思っています。子どもたちが教科書を使って学習していく中で自分を振り返ってみたとき、自分たちの親またその親と、我々日本人やいろんな国の人々がずっと続いてきていると思います。そのような中で、しっかりと足を踏みしめて生きていける豊かな風土としての新居浜や祖国日本への感謝の思いを持つことが普通ではないかなと、否定をしないといけないのではないかなと思います。そのような中で、家族愛を育んだり、ふるさとを愛したり祖国愛があって初めて人類愛も結ばれるのではないかと、言い換えると、両親を大切にまたは家族を愛し、ふるさとを愛し祖国の文化や伝統を愛することができることによって、他国の人々と同じ思いや願いを理解することができるのではないかなと思っています。そのようなところから、育鵬社の教科書は多角的に歴史事象を捉えているのではないかと思います。特に女性に焦点を当てたコラムが掲載されていること、また全体を通して人物に焦点を当てた教科書構成となっていることから、人生や人の生き方の積み重ねを教えるというのも一つの歴史学習ではないかなと思ひ、そのようなことから人の生き方を示すことにもつながっていくと思います。日本人だという意識を持ったうえで、世界に羽ばたくグローバルな人間に育ててほしい。そのためには自国の良さや誇りを知り、身につけて、世の中へ出て行ってほしいと思います。</p> |

|              |  |
|--------------|--|
|              | <p>新居浜市教育委員会では現在、ふるさと学習に取り組んでいます。それは、新居浜で育った子どもたちが、新居浜や日本に誇りを持ち、将来世界に羽ばたいて行ってほしいという願いがあります。また今、地方創生ということが言われていますが、まず地域を愛して地域を学んで、胸を張って地域のことを話せる子どもを育てていく、ふるさとを大事にする若者を育成していくことが地方創生にもつながっていくのではないかと、そのような意味で私は育鵬社の教科書を推薦したいと思います。</p>  |
| <p>三木委員長</p> | <p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>   |
| <p>長野委員</p>  | <p>私も採択委員会の選定に賛成したいと思います。すべての教科書に目を通しましたが、育鵬社は日本の視点に立ってということが非常に際立っていたと思いました。そのことについてやはり様々なご意見が多いと思いますけれど、先ほどの教育長さんの話にもありましたが、これから子どもたちは国際人として、日本だけでなく世界各国と協調して生きていかなければいけないと思います。そういうときに、それぞれの国の子どもたちもきつと同じだと思うのですが、まず自分の国について深く知り、生き方や考え方を身につけ、そのうえでお互いに協調して生きていくことが求められるのではないかと思います。歴史の授業をただ単に歴史的な事実を知識として捉えるような学習ではなく、それぞれ立場が変われば一つの事実の見方や考え方が異なるということも教科書を使って勉強する中で発見して、それを考えたり、議論して深く掘り下げながら判断し、また自分たちも先人たちの生き方に負けないような、よりよい歴史を作っていくような生き方をしていかなければならないという意欲や態度を培っていかねばならないのではないかなと思います。そういう意味でも日本人としての自覚、日本人であるということの意味、たくさんの先人たちが歩んできた道を学習することは重要なことであると思いますので、育鵬社を推薦したいと思います。</p> |
| <p>三木委員長</p> | <p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>   |
| <p>宮内委員</p>  | <p>歴史は日本が誕生してから今までの過程を振り返るとともに、歴史に学んでこれから先日本がどうなっていくのかということを考えると、非常に大事な教科書であると考えられます。特に、市民の方から</p>   |

たくさんの方の声やご意見がございましたが、中でも取り上げているのが第二次大戦に対する評価とその後の日本の在り方だと思いますので、そういった部分を中心にすべての教科書を読ませていただきました。私の考えと採択委員会や調査員の意見が少し異なる部分がありましたのでどの教科書を採用するかは非常に悩みましたが、私が一つどうしてもお願いしたいのが、戦争はいけないことだと教えやすい教科書であるかどうかです。どんな理屈があっても、どんな正義があっても、どんな法律があっても、戦争は許されないことだと私は考えています。そういったことを思いながら教科書を読みましたが、育鵬社に関しては、1ページに多くのことを詰め込みすぎてレイアウトが雑多であると感じました。また、記述が細かいところとそうでないところがあり、ばらつきがあると思いました。私個人としては、占領下の日本と日本国憲法の制定に関しては、育鵬社は少し乱暴ではないかと感じました。東京書籍に関しては、「進めよう」というコラムと「歴史にアクセス」というコラムが脈絡なく配置されているので、全体の統一性に乏しい教科書だと思いました。また、民主化と日本国憲法についても少し違和感を感じました。帝国書院に関しては、同じように「歴史を探ろう」というコラムがありましたが、本文とコラムの区別がつきにくく、子どもが学びにくいのではないかと考えました。ただ、新憲法については「新時代に認められた憲法」という表現がされていました。日本文教出版に関しては、世界と日本を対した年表や小学校で学んだ年表と対するなど、非常に学びやすい配慮がなされていました。第二次大戦に関しても「非常に深い傷跡を残した」と書いてあるのですけれども、ただ記述が非常に淡々としていて子どもたちの興味を引くだろうかという懸念があります。教育出版に関しては、記述が温厚で世界と日本を対した年表がわかりやすいし、日本文教出版より詳しい記述がありました。しかも、「平和国家を目指す」という表現もありました。清水書院に関しては、非常に記述が平板で子どもの興味が湧きにくいのではないかなと思いました。自由社に関しても、温厚な優しい表現がしるところと、私から見たら少し暴力的な表現ではないかなと思うところがあります。その中にマッカーサーの反省点があって、「何も公職追放などで日本はきちんとよくなる」という表現があったりします。全体通して子どもさんの教科書としては少し難があると思いました。それではどの教科書にするのかとなると、皆さんの意見を伺いながら決めたいと思っておりますけれども、採択委員会や調査員の方が私以上に努力を重ねて選定された育鵬社の教科書が評価に値する教科



|              |   |
|--------------|---|
| <p>三木委員長</p> | <p>書ではないかなと思っています。</p> <p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>   |
| <p>伊藤委員</p>  | <p>皆さんが言われましたように、歴史の教科書は非常に大切な教科書だと私も認識しております。その中で私は四つの観点を特に見させていただきました。一つ目は、その教科書で学習することで、その教科書が楽しいと思えるかどうか。二つ目は、中学生の時その教科書で学習することで、将来その教科書についての知識をもっと深めていきたいという探求心を養えるかどうか。三つ目は、その教科書を読むことによって命の大切さ、人生を生き抜こうという力を養うことができるのかどうか。四つ目はみなさんも言われていましたが、ふるさとに自信を持つことができるかどうか、今立っている自分の立ち位置を愛することができるのかということが大切だと思います。この四つの観点からすべての教科書を読ませていただいて、そのうえで私は育鵬社の教科書を推薦したいと思います。育鵬社の教科書は、読んでいくうちに歴史の中に引き込まれるような不思議な感じで、面白く楽しく読んでいくことができました。途中で教科書が途切れることなく、政治や文化などジャンルが移っていてもずっと続いて読める素晴らしい教科書だと思いました。そしてその中でも、何よりも多くの人物を取り上げていることが素晴らしいと思いました。今の子どもたちには情報があふれていますから、何がいいのか悪いのか、またこういう考え方もあるのかなど、調べようと思えばすぐ調べることができます。しかし、教科書の中に紹介されていないことがあると、自ら調べようというチャンスを減らしているということも言えます。私は人生を生き抜くヒントが多いのか少ないのかということが、歴史で言うと出てくる人物が多いのか少ないのかということにつながっていくのではないかと思います。そういうことを鑑みまして、私はこれから新居浜の子どもたちには育鵬社の教科書で学習してほしいと思います。</p> |
| <p>三木委員長</p> | <p>ありがとうございました。いろいろなご意見いただきました。私からも意見を述べさせていただけたらと思います。採択委員会が選定された育鵬社の良いと思ったところは、歴史上の様々な出来事について本当に詳しい描写がなされているところ、また先ほどもお話がありましたけれども、歴史上の人物の話題が豊富でとても興味深く読める所でした。ただ、歴史上の様々な出来事に対する観点がやや主観的、</p>   |

|        |  |
|--------|--|
|        | <p>一方的なところがあるのかなと感じました。次点の東京書籍に関しては、歴史上の出来事いろいろ記述がありますが、客観的に記述してあることから、様々な視点から歴史を捉えることができるのではないかと思います。ただ、もう少し詳しい記述や人物描写があればいいと感じました。それぞれに良いところがあると思ったのですが、採択委員会が出てきた結果を私も重視したいと思います。</p> <p>それでは、採決を行います。社会・歴史的分野の教科書について、育鵬社が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p> |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。それでは、社会・歴史的分野について育鵬社を採択といたします。</p> <p>次に、社会・公民的分野について、事務局から説明をお願いします。</p>   |
| 井上指導主幹 | <p>資料5ページをご覧ください。社会・公民的分野について、ご説明いたします。7つの出版社を対象にしております。調査員は、日本文教出版をA、東京書籍をB、帝国書院、教育出版、清水書院、育鵬社をC、自由社をDとしております。また、学校の評価については、日本文教出版を1位に推している学校が8校、2位としているところが1校。東京書籍を1位に推しているところは2校、2位としているところは9校となっています。採択委員会ではそれらを総括し、日本文教出版を選定、東京書籍を次点としております。ご審議をお願いします。</p>           |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。それでは、社会・公民的分野の採択にあたって、各委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>  |
| 阿部教育長  | <p>私は日本文教出版の教科書を選びたいと思います。学習指導要領に示されている教材、分野の目標や内容に照らして適切なものが選定されていて、公平性を保ちながら掲載されていると思いました。また、学習内容の進化を図ることができるページの設定など、系統的、発展的に構成されていると思います。生徒が主体的に取り組めるような単位期間ごとの学習課題が示されており、課題の探求方針が詳しく解説されているなど社会的な見方や考え方が育つように配慮されていると思いました。そのようなことから、新居浜市が進めているESDの推</p>             |

|               |  |
|---------------|--|
| <p>三木委員長</p>  | <p>進で子どもたちが主体的に学習に取り組める可能性がより高いものとして、日本文教出版の教科書を推進したいと思います。</p> <p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>   |
| <p>宮内委員</p>   | <p>私も採択委員会と同じ日本文教出版を推薦いたします。日本文教出版はわかりやすく組み立てていると同時に、内容もわかりやすく、また本文を理解させるためのグラフとか、レイアウトにも非常に工夫があります。しかも、その中に憲法の条文も掲載されていて、抜粋ですが法律が用意されているとか、用語集であるとか、そういったことで子どもたちが非常に取り組みやすいのではないかと思います。他の教科書も読んでみたのですが、やはり日本文教出版が一番子どもが学びやすい教科書ではないかと考えます。</p> |
| <p>三木委員長</p>  | <p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。社会・公民的分野の教科書について、日本文教出版が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>  |
| <p>三木委員長</p>  | <p>ありがとうございました。それでは、社会・公民的分野について日本文教出版を採択といたします。</p> <p>次に、社会・地図について、事務局から説明をお願いします。</p>   |
| <p>井上指導主幹</p> | <p>資料6ページをご覧ください。社会・地図について、ご説明いたします。2つの出版社を対象にしております。調査員は、帝国書院をA、東京書籍をBとしております。また、学校の評価については、帝国書院を1位に推している学校が11校、2位に推している学校が1校。東京書籍を1位に推しているところは、1校、2位としているところは11校となっています。採択委員会においては、それらを総括し、帝国書院を選定し、東京書籍を次点としております。ご審議をお願いします。</p>             |
| <p>三木委員長</p>  | <p>ありがとうございました。それでは、社会・地図の採択にあたって、委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>  |